

## 議案第 2 号

### 職員の特殊勤務手当に関する規則の一部改正について

令和 2 年 6 月 25 日 提出      岩手県人事委員会   委員長      熊谷   隆司

---

#### 第 1    趣旨

家畜伝染病予防法等の一部改正に伴い、防疫等作業手当の支給対象となる感染症等の名称について、所要の整備をしようとするものである。

#### 第 2    規則案の内容

「ブルセラ病」を「ブルセラ症」に、「結核病」を「結核」に、「トキソプラズマ病」を「トキソプラズマ症」に改めること。（第 4 条関係）

#### 第 3    施行期日（附則関係）

令和 2 年 7 月 1 日から施行すること。

職員の特殊勤務手当に関する規則の一部を改正する規則をここに公布する。

令和2年 月 日

岩手県人事委員会  
委員長 熊 谷 隆 司

岩手県人事委員会規則第 号

職員の特殊勤務手当に関する規則の一部を改正する規則

職員の特殊勤務手当に関する規則（昭和31年岩手県人事委員会規則第65号）の一部を次のように改正する。

改正前	改正後
<p>（家畜の伝染性疾病の種類）</p> <p>第4条 条例第4条第2項に規定する人事委員会の定めるものとは、次に掲げるものとする。</p> <p>（1）～（5） 〔略〕</p> <p><u>（6） ブルセラ病</u></p> <p><u>（7） 結核病</u></p> <p>（8）～（15） 〔略〕</p> <p><u>（16） トキソプラズマ病</u></p> <p>（17） 〔略〕</p>	<p>（家畜の伝染性疾病の種類）</p> <p>第4条 条例第4条第2項に規定する人事委員会の定めるものとは、次に掲げるものとする。</p> <p>（1）～（5） 〔略〕</p> <p><u>（6） ブルセラ症</u></p> <p><u>（7） 結核</u></p> <p>（8）～（15） 〔略〕</p> <p><u>（16） トキソプラズマ症</u></p> <p>（17） 〔略〕</p>
<p>備考 改正部分は、下線の部分である。</p>	

附 則

この規則は、令和2年7月1日から施行する。

## 職員の特殊勤務手当に関する規則の一部改正について

### 1 改正の趣旨

家畜伝染病予防法等の一部改正に伴い、特殊勤務手当のうち防疫等作業手当の支給対象となる感染症等の名称を変更しようとするもの。

### 2 特殊勤務手当の趣旨

職員の勤務が著しく危険、不快、不健康又は困難な勤務その他の著しく特殊な勤務と認められるものに従事する職員に対して、勤務の特殊性に応じて支給するもの。

一般職の職員の特殊勤務手当に関する条例において、勤務の特殊性に応じて、現在38種類の手当が規定されている。

### 3 防疫等作業手当の概要

職員が、感染症等が発生し、若しくは発生するおそれがある場合又は犬による危害のおそれがある場合において、次に掲げる作業又は業務に従事したときに支給する。

	対象となる作業	日 額
①	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 感染症等の患者若しくは感染症等の疑いのある患者の救護</li> <li>・ 感染症等の病原体に汚染された物件若しくは汚染の危険がある物件の処理作業</li> <li>・ <u>感染症等の病原体を有する家畜若しくは感染症等の病原体を有する疑いのある家畜に対する防疫作業</u></li> </ul>	作業又は勤務 1日につき290円
②	狂犬病予防法の規定に基づく犬の捕獲又は犬の処分の作業	作業1日につき380円
③	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律の規定に基づく在宅結核患者の家庭を訪問して行う必要な指導	作業又は勤務 1日につき290円
④	動物の愛護及び管理に関する条例の規定に基づく犬の捕獲、犬の処分又は犬の薬殺の作業	作業1日につき380円

〈感染症等〉

- 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第6条第1項に規定する感染症（四類感染症及び五類感染症を除く。）
- 狂犬病予防法第2条第1項及び第2項に規定する狂犬病
- 家畜伝染病予防法（昭和26年法律第166号）第2条第1項に規定する家畜伝染病その他の家畜の伝染性疾病（寄生虫病を含む。）で人事委員会の定めるもの

人事委員会で定めるもの（規則第4条、17種類）：口蹄疫、流行性脳炎、狂犬病、炭疽、出血性敗血症、**ブルセラ病**、**結核病**、鼻疽、豚熱、高病原性鳥インフルエンザ、低病原性鳥インフルエンザ、破傷風、レプトスピラ症、サルモネラ症、野兔病、**トキソプラズマ病**、豚丹毒

- 検疫法（昭和26年法律第201号）第2条に規定する検疫感染症

#### 4 家畜の伝染性疾病に係る法令改正の概要

##### (1) 家畜伝染病予防法の一部改正の概要（家畜伝染病の名称変更）

「ブルセラ病」を「ブルセラ症」に、「結核病」を「結核」に改める等の7の家畜の伝染性疾病の名称変更が行われたこと。

[理由]

国際的な名称の使用実態や、公益社団法人日本獣医学会からの提言を踏まえ、一般的に用いられている名称等にするため。

##### (2) 家畜伝染病予防法施行規則の一部改正の概要（届出伝染病の名称変更）

「トキソプラズマ病」を「トキソプラズマ症」に改める等の18の届出伝染病の名称変更が行われたこと。

[理由]

(1)の理由に同じ。

##### (3) 施行日

令和2年7月1日

#### 5 改正案

家畜伝染病予防法等の一部改正に伴い、防疫等作業手当の支給対象となる感染症等の名称について、次のとおり改めること。

改正前	改正後
ブルセラ病	ブルセラ症
結核病	結核
トキソプラズマ病	トキソプラズマ症

#### 6 施行日

令和2年7月1日施行（家畜伝染病予防法等の施行日と同日）。